

伊勢湾貧酸素情報（第 2 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

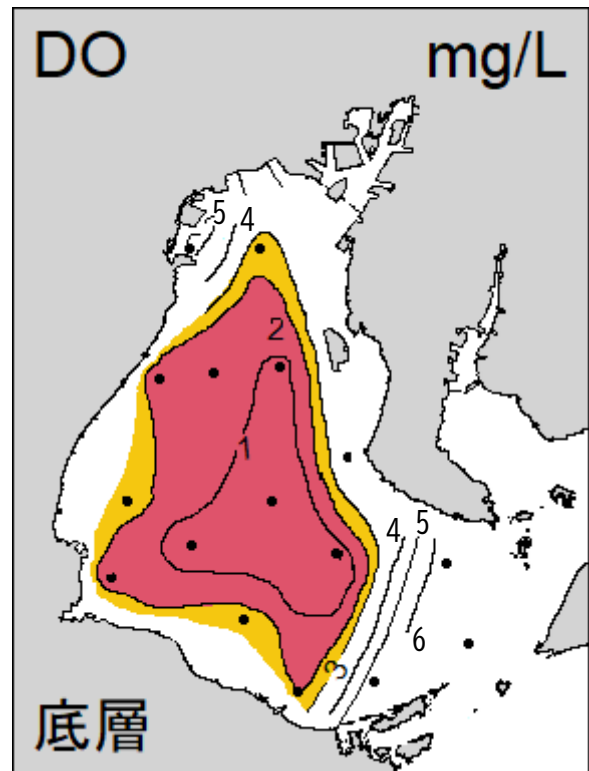
伊勢湾の中央部を中心に 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が確認されました。

7 月 16 日の調査結果

7 月 16 日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で 25.8～29.5℃、10m で 20.9～23.0℃、底層で 18.2～23.8℃の範囲にあり、平年と比べて表層はかなり高め、10m はやや高め、底層は高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.0～12.8 mg/L、10m で 2.0～6.2mg/L、底層で 0.1～6.1 mg/L の範囲にあり、平年と比べて表層、10m、底層共に平年並となっていました。

今後、海水温の上昇に伴って有機物の分解が進むと、貧酸素水塊の範囲がさらに広がる可能性があります。今後の操業にあたっては、貧酸素水塊の動向に十分に注意してください。



底層貧酸素水塊分布図